
2022年3月期 決算説明資料

**プライム市場上場維持基準の適合
に向けた進捗状況**

2022年5月19日

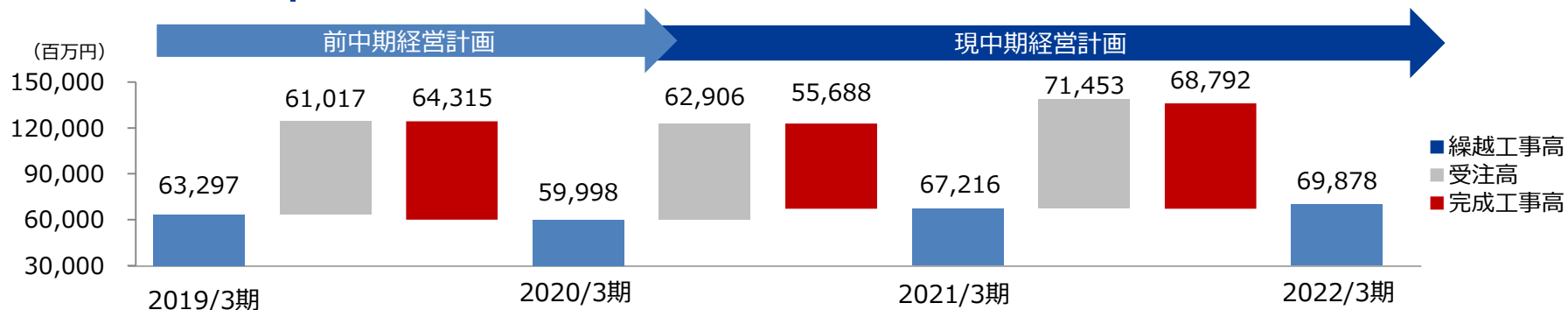


1.決算サマリー

連結完成 工事高

68,792百万円 (前年同期比 +23.5%)

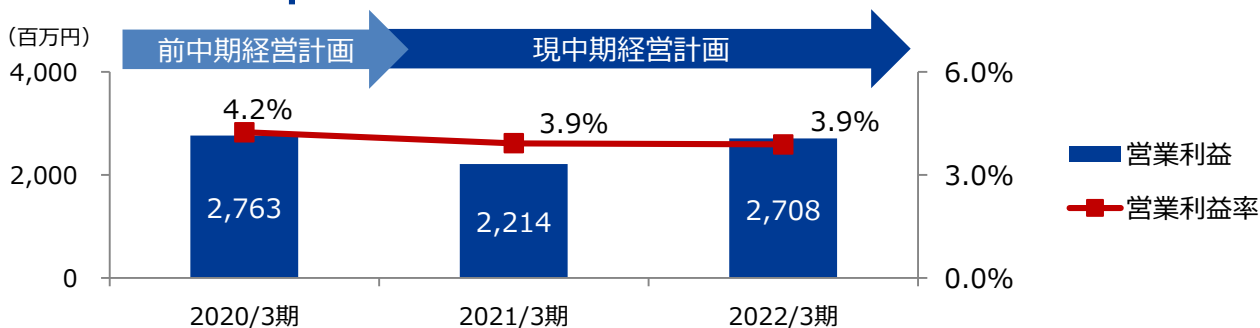
完成工事高は前期からの繰越工事高および受注高が大幅に増加したことなどを要因として前年同期比23.5%増の68,792百万円となりました ご参考：(前期末)繰越工事高+受注高-完成工事高=(当期末)繰越工事高



連結営業 利益額

2,708百万円 (連結営業利益率 3.9%)

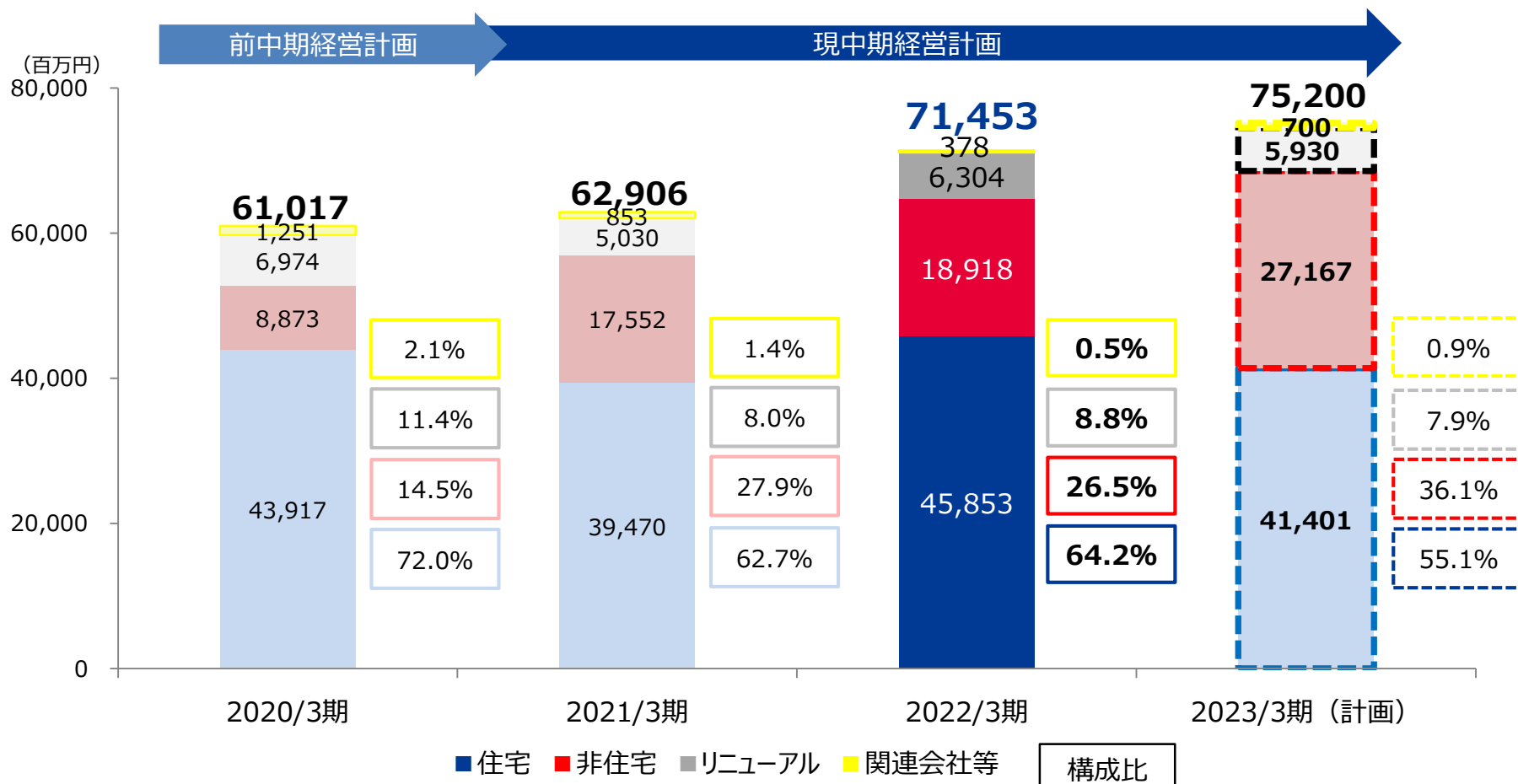
営業利益額は売上高の増加に伴い、前年同期比22.3%増の2,708百万円となりました (前年同期比+22.3%/前年同期比±0ポイント)



※金額は百万円未満を切捨てて表示しております

2-1. 連結受注高推移

“住宅”“非住宅”“リニューアル”の受注高が増加し、
前年同期比13.6%増の**71,453**百万円と**700**億円を突破



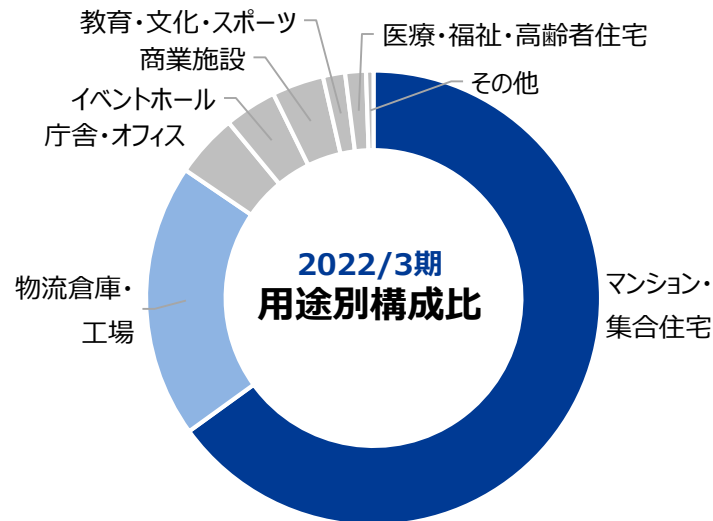
※2022/3期より分類基準を変更しております。なお、過年度の数値については変更後の分類基準に合わせて調整しております

2-2. 連結受注高推移

用途別 注力分野である“物流倉庫・工場”が増加 (百万円)

| | 2020/3期 | | 2021/3期 | | 2022/3期 | |
|-------------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | | 構成比 | | 構成比 | | 構成比 |
| マンション・集合住宅 | 44,450 | 72.7% | 41,275 | 65.5% | 46,498 | 65.0% |
| 物流倉庫・工場 | 3,891 | 6.4% | 9,516 | 15.1% | 13,898 | 19.5% |
| 庁舎・オフィス | 4,141 | 6.8% | 1,867 | 3.0% | 3,216 | 4.5% |
| イベントホール | 2,915 | 4.8% | 2,737 | 4.4% | 2,657 | 3.7% |
| 商業施設 | 2,774 | 4.5% | 2,799 | 4.5% | 2,633 | 3.7% |
| 教育・文化・スポーツ | 1,134 | 1.9% | 1,662 | 2.6% | 1,120 | 1.6% |
| 医療・福祉・高齢者住宅 | 458 | 0.8% | 2,194 | 3.5% | 1,051 | 1.5% |
| その他 | 1,251 | 2.1% | 853 | 1.4% | 378 | 0.5% |
| 合計 | 61,017 | 100.0% | 62,906 | 100.0% | 71,453 | 100.0% |

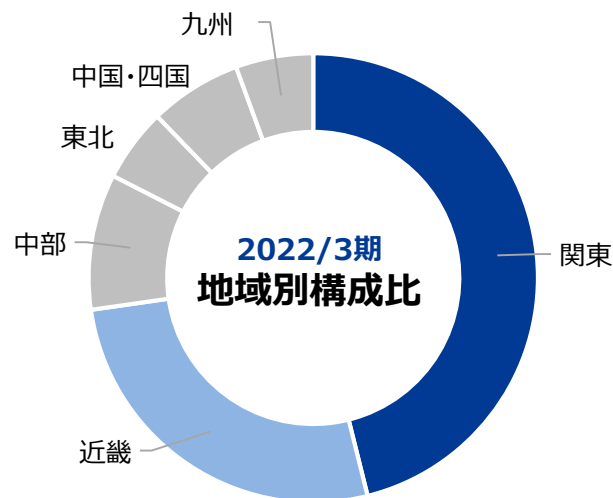
※リニューアル工事は建物用途に応じて分類、関連会社はその他に含む



地域別 “関東” が増加 (百万円)

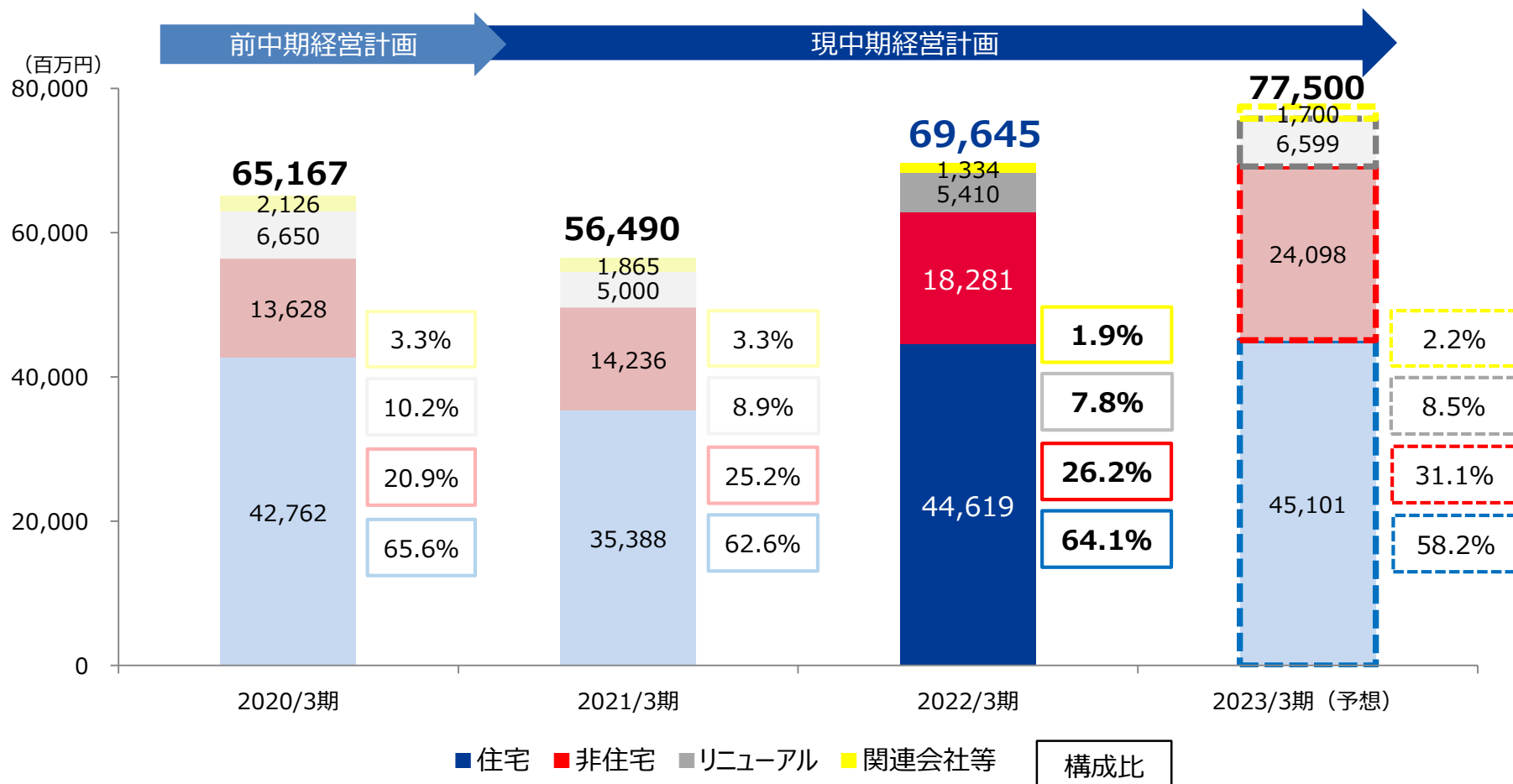
| | 2020/3期 | | 2021/3期 | | 2022/3期 | |
|-------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | | 構成比 | | 構成比 | | 構成比 |
| 関東 | 20,583 | 33.7% | 28,187 | 44.8% | 32,985 | 46.1% |
| 近畿 | 25,130 | 41.2% | 22,568 | 35.9% | 19,004 | 26.6% |
| 中部 | 4,341 | 7.1% | 4,852 | 7.7% | 6,977 | 9.8% |
| 東北 | 3,185 | 5.2% | 440 | 0.7% | 3,764 | 5.3% |
| 中国・四国 | 4,613 | 7.6% | 2,284 | 3.6% | 4,739 | 6.6% |
| 九州 | 3,161 | 5.2% | 4,572 | 7.3% | 3,983 | 5.6% |
| 合計 | 61,017 | 100.0% | 62,906 | 100.0% | 71,453 | 100.0% |

※関連会社は近畿に含む



3. 連結売上高推移

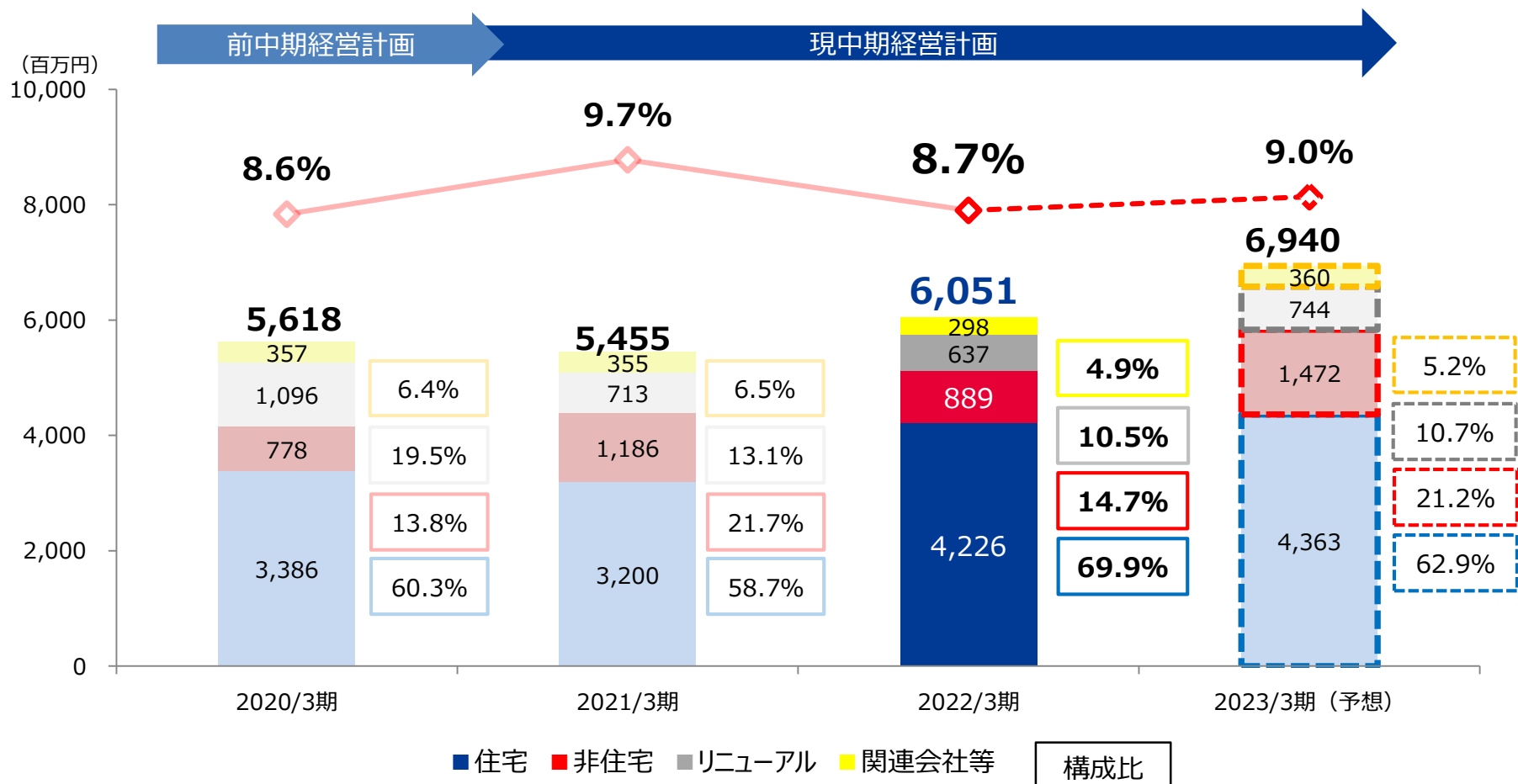
“前期からの繰越工事高および受注高の増加に伴い、前年同期比23.3%増の69,645百万円強化を掲げている“非住宅”についても前年同期比28.4%増加し、18,281百万円となる



※2022/3期より分類基準を変更しております。なお、過年度の数値については変更後の分類基準に合わせて調整しております

4. 連結売上総利益推移

売上高の増加に伴い、売上総利益は**6,051**百万円に増加



※2022/3期より分類基準を変更しております。なお、過年度の数値については変更後の分類基準に合わせて調整しております

5.連結貸借対照表

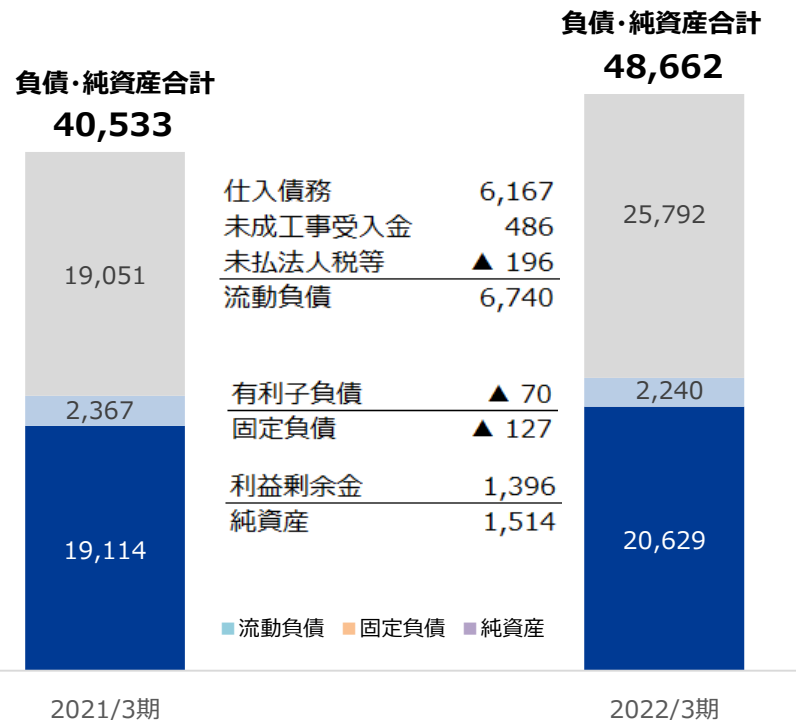
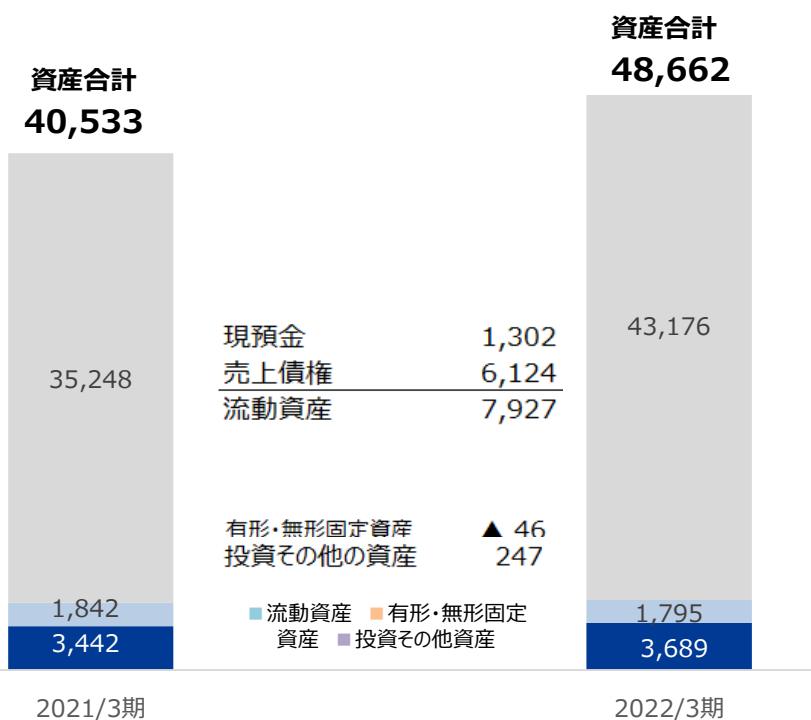
売上債権（受取手形・完成工事未収入金等、電子記録債権）、現預金などの増加により、流動資産が増加
仕入債務（支払手形・工事未払金等、電子記録債務）などの増加により、流動負債が増加。利益剰余金の増加により、純資産が増加

■資産の部 +8,128

(百万円)

■負債・純資産の部 +8,128

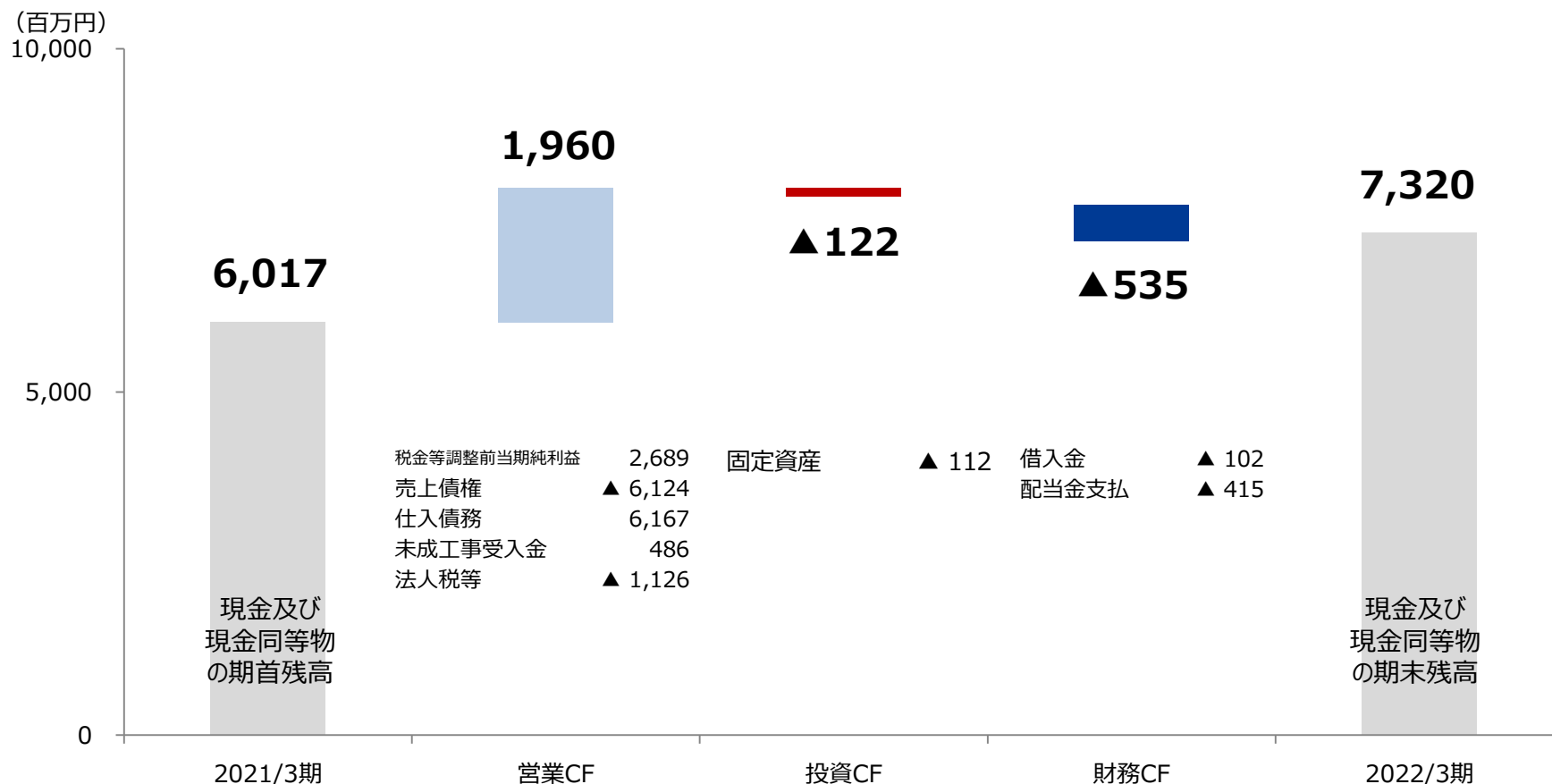
(百万円)



| 自己資本比率 | 2021/3期 | 2022/3期 |
|--------|---------|---------|
| | 47.2% | 42.4% |

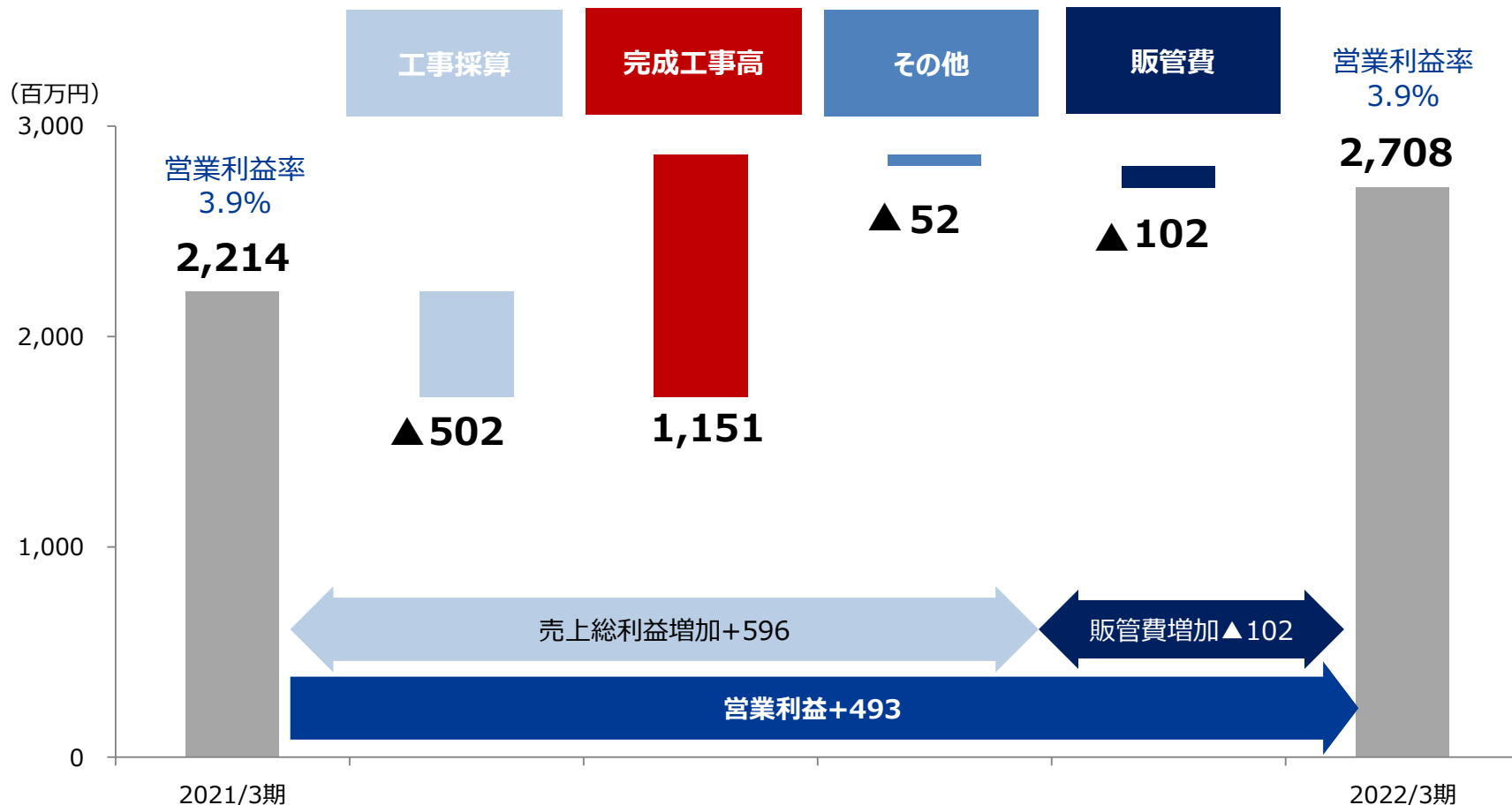
6.連結キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物の期末残高は、売上債権（受取手形・完成工事未収入金等、電子記録債権）の増加、法人税等の支払いなどにより減少するものの、税引等調整前当期純利益の計上、仕入債務（支払手形・工事未払金等、電子記録債務）の増加などにより1,302百万円増加し、7,320百万円となる



7. 連結営業利益の増減要因

完成工事高の増加などにより、前年同期比493百万円増加



8-1.主な完成工事 (2021年10月～2022年3月)

※都道府県コード順で表示しております

| 発注者名 | 物件名 | 都道府県 | 用途 |
|-------------------------------|--------------------|------|----------------|
| 三菱地所株式会社 E N E O S 不動産株式会社 | ロジクロス船橋 | 千葉県 | 物流倉庫・工場 |
| 東京都住宅供給公社 | 都営笹塚二丁目アパート | 東京都 | マンション・集合住宅【改修】 |
| 社会医療法人社団一成会 | 社会医療法人一成会 木村病院 | 東京都 | 医療・福祉・高齢者住宅 |
| 清水総合開発株式会社 東京建物株式会社 | FUJISAWA THE TOWER | 神奈川県 | マンション・集合住宅 |
| 大和ハウス工業株式会社 | プレミスト横濱反町 | 神奈川県 | マンション・集合住宅 |
| 関電不動産開発株式会社 近鉄不動産株式会社 | シエリア箕面船場 | 大阪府 | マンション・集合住宅 |
| 株式会社クボタ | 堺製造所C6棟 | 大阪府 | 物流倉庫・工場【改修】 |
| 西濃運輸株式会社 | 西濃運輸株式会社 河内支店 | 大阪府 | 物流倉庫・工場【改修】 |
| 大阪ガス株式会社 | 大阪ガス今津グラウンド体育館 | 兵庫県 | 教育・文化・スポーツ【改修】 |
| 株式会社タカラレーベン西日本 | レーベン原田 SILVISTA | 福岡県 | マンション・集合住宅 |



DAISUÉ

8-1.主な完成工事 (2021年10月~2022年3月)



ロジクロス船橋



社会医療法人一成会 木村病院



FUJISAWA THE TOWER



プレミスト横濱反町



シエリア箕面船場



レーベン原田 SILVISTA

8-2.主な受注工事 (2021年10月～2022年3月)

※都道府県コード順で表示しております



| 発注者名 | 物件名 (工事名) | 都道府県 | 用途 |
|--------------------------------------|----------------------------|------|-----------------|
| 株式会社エフピコ | エフピコ関東第3センターFM | 茨城県 | 物流倉庫・工場【改修】 |
| 立花商事株式会社 | 旧戸田中央リハビリテーション病院・研究所・クリニック | 埼玉県 | 医療・福祉・高齢者住宅【改修】 |
| 合同会社LOGI FLAG 1号 | LOGI FLAG久喜 I | 埼玉県 | 物流倉庫・工場 |
| 株式会社タカラレーベン | L.biz日本橋 | 東京都 | 庁舎・オフィス |
| 東京建物株式会社 | 目黒大橋マンション計画賃貸棟 | 東京都 | マンション・集合住宅 |
| 三信住建株式会社 京急不動産株式会社 大成有楽不動産株式会社 | 横須賀市日の出町計画 | 神奈川県 | マンション・集合住宅 |
| 株式会社プレサンスコーポレーション | プレサンスロジエ亀島一丁目 | 愛知県 | マンション・集合住宅 |
| 三菱地所株式会社 | ロジクロス大阪交野 | 大阪府 | 物流倉庫・工場 |
| 東京建物株式会社 エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社 | 西宮市高塚町計画 | 兵庫県 | マンション・集合住宅 |
| 穴吹興産株式会社 | アルファステイツ松江駅南 | 島根県 | マンション・集合住宅 |

9.SDGsの取組み（中期経営計画より）






| 分野 | 取組みの例 | 目標管理指標 | SDGsターゲット | 2021/3期実績 | 2022/3期実績 |
|--------------------------------------|--------------|--------------------|--|-----------------------|----------------------|
| 環境問題解決 E nvironment | 既設建物の長寿命化 | リニューアル・リノベーション受注金額 |    | 47億円 | 53億円 |
| 社会課題解決 S ocial | 現有建造物の強靱化 | 耐震改修工事の受注件数 |   | 4件 | 6件 |
| | 建設技術の研究開発 | 新規技術開発の取組件数 |   | 3件 | 5件 |
| | 生産性向上 | 社員1人当たり売上高向上率 |    | ▲17.7% ※2020/3期実績比 | +0.8% ※2020/3期実績比 |
| 企業統治 G overnance | コンプライアンス意識向上 | 役職員への教育回数 |   | 15回 | 15回 |

プライム市場上場維持基準の 適合に向けた進捗状況

プライム市場上場維持基準の適合状況

| | 2021/3期 ※ ¹ | 移行基準日 時点※ ² | 適合計画書 ※ ³ | 2022/3期 ※ ¹ | 2023/3期 | 2024/3期 | 2025/3期 |
|----------|---------------------------|---------------------------|-------------------------|---------------------------|---|---------|---------------|
| 流通株式時価総額 | 59.3億円 | 64.8億円 | 74.0億円 | 86.3億円 |  | | 100億円以上 |
| 売買代金 | 0.1億円/日 | 0.09億円/日 | 0.2億円/日 | 0.2億円/日 |  | | 0.2億円以上 /日 |

【ご参考】適合計画書に記載した各指標の進捗状況

| | | | | | | | |
|---------------------|--------------------|---|---|--------------------|---|---|-------|
| 配当性向 | 26.2% | — | — | 34.6% | 50%以上 |  | |
| ROE | 8.7% | — | — | 9.1% |  | | 10%以上 |
| ROIC | 7.8% | — | — | 9.1% |  | | 10%以上 |
| 連結売上高 | 564億円 | — | — | 696億円 | 775億円 |  | |
| 連結当期純利益 (連結営業利益) | 16.0億円 (22.1億円) | — | — | 18.1億円 (27.0億円) | 19.9億円 (29.0億円) |  | |

※¹流通株式時価総額は事業年度の末日以前3か月間の東証終値の平均値に事業年度末日の流通株式数を乗じた額、売買代金は毎年1月～12月の平均値

※²「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」より

※³2021年12月15日開示「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」より

流通株式時価総額は2021年11月30日時点、売買代金は2021年1月～2021年11月の平均値

※¹※²※³の流通株式数は2021年3月31日時点の流通株式数を使用

株主価値向上の基本方針

- 株主価値の向上を目的と位置づけ、**連動した事業戦略と資本戦略**、それを支えるガバナンス体制を構築
- 当面は課題解決に資する優先度の高い投資と、バランスシートマネジメントにより成長・改善を目指す



戦略的成長投資① (DX計画概要)

DX計画策定・システム構築・全社展開 を短期で実現させる

中期経営計画および2030年ビジョンの実現に向け、企業価値向上を最重要施策と位置付け、2022年4月1日に社長を本部長とする「DX推進本部」を設立

受注と利益を生み出すプロフィットセンターに集中投資

営業DX

- 見積スピード・積算精度を飛躍的に高めるDXシステムを構築
- 顧客の精度の高い事業計画立案に寄与し、事業企画段階からの参入機会を増大
- DXシステムを展開し、新マーケットでの受注力を向上
- 最新データの活用により受注後の利益変動リスクを低減し、確実な利益獲得を実現

施工DX

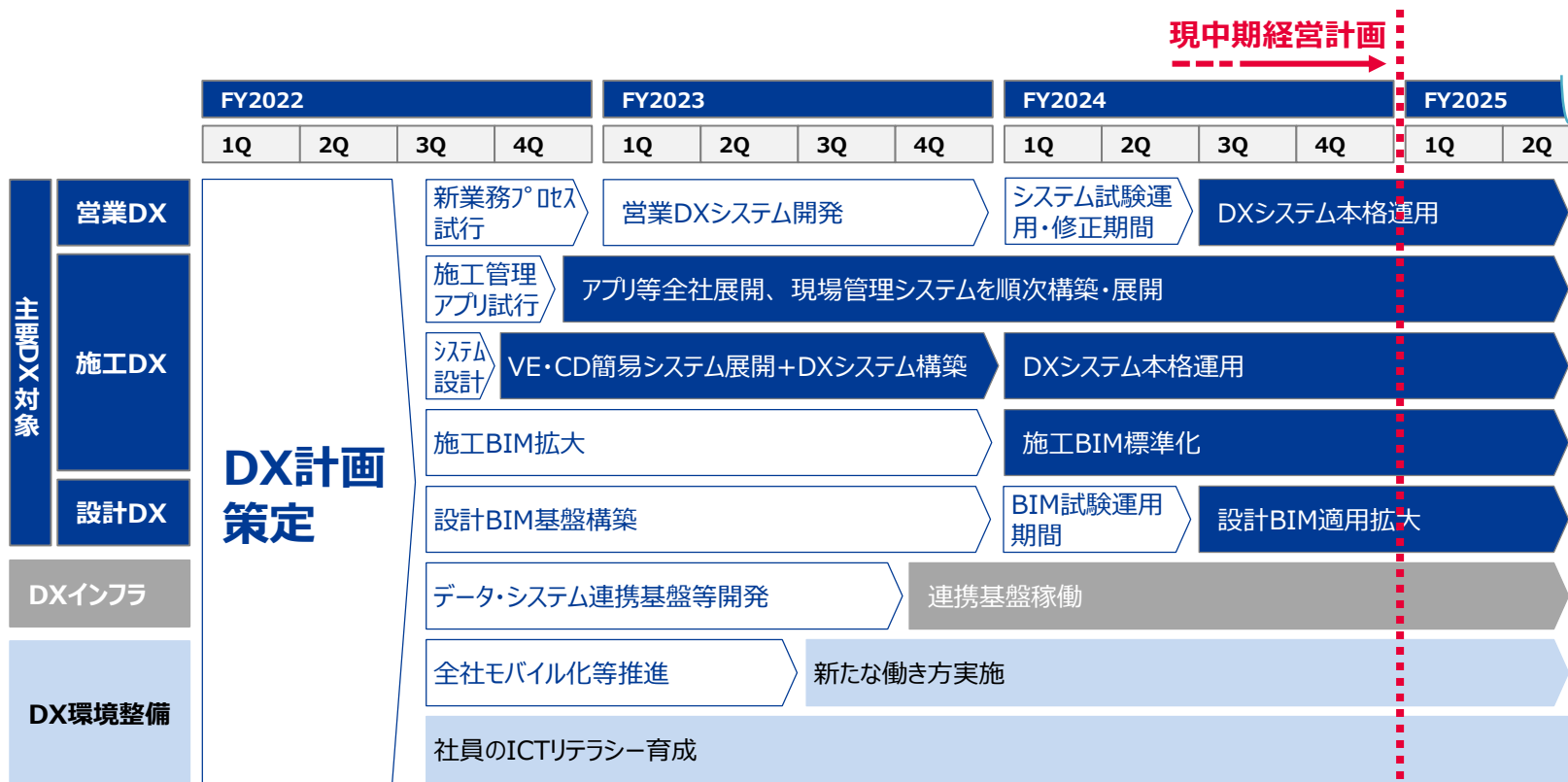
- 現場のモバイル環境の整備、ICTツールと施工BIM等展開による効率化を推進
- 一人当たりの生産性 = 施工高を向上させ、1,000億円の施工体制を確立
- VE・CD支援システム構築により、施工段階での利益率を更に向上

設計DX

- BIM設計力向上により設計施工比率を高め、フロントローディングにより利益を向上
- BIMによる顧客への提案力を向上し、大規模工事への参入力を強化
- 非住宅分野の設計力をBIMで強化し、受注力を向上

戦略的成長投資② (DX計画概略ロードマップ)

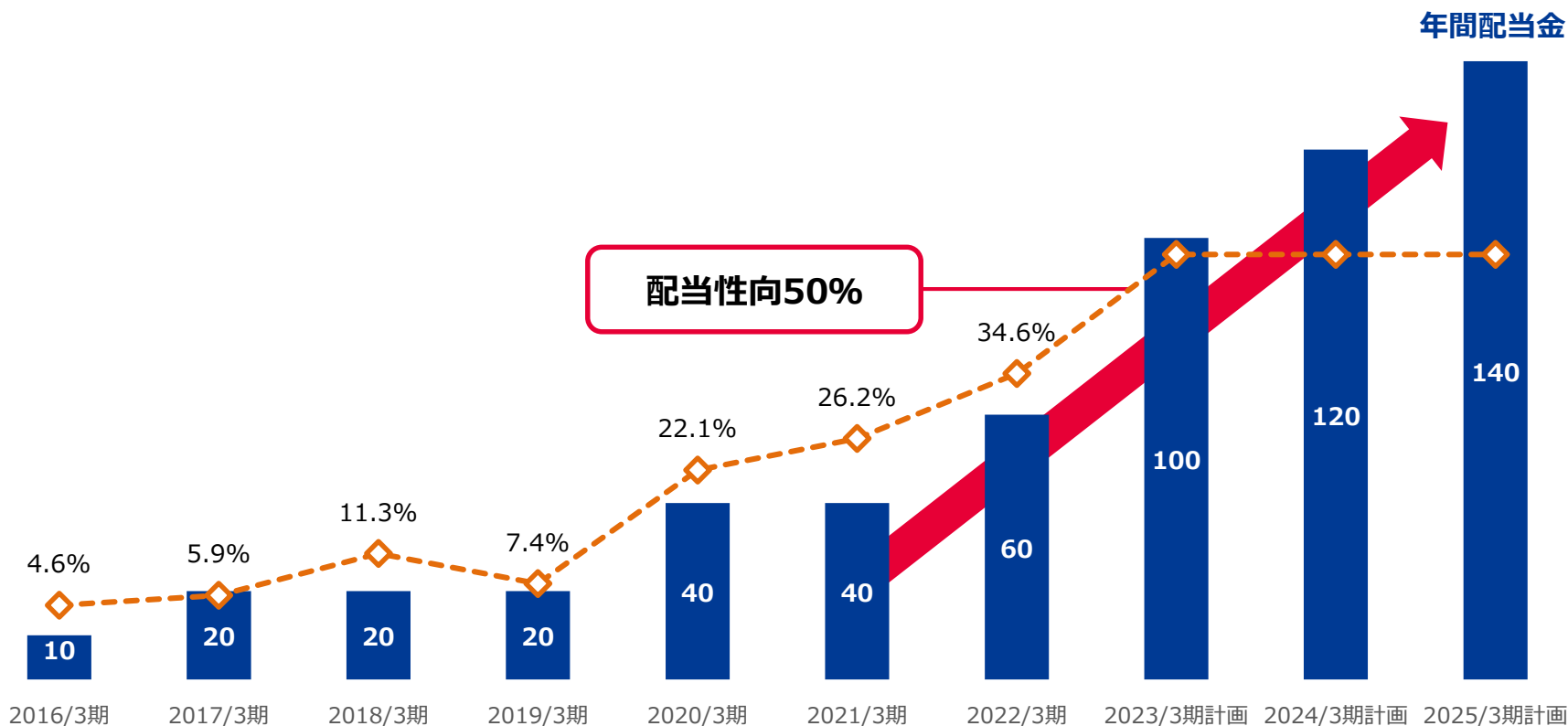
- 2024年度 = 現中期経営計画最終年度に、DXの投資効果が表れるようロードマップを策定
- 今期の10月末までに全領域のDX計画を策定し、新たな業務プロセス・データ活用の姿を決定
- DXの各システムが有効に稼働するように、先行してDXインフラ整備・DX環境整備を実施



着色部矢印；各施策の成果が表れる期間

資本戦略について

2023年3月期以降の配当性向を **50%以上** とする



※2023年3月期以降の年間配当金は、現在の計数計画に基づくものです。実際の配当金額は、計画の達成状況により変動いたします。

具体的な取組みの内容（ガバナンス体制）

| CGコード | 取組み事項 | 2016/3期 | 2017/3期 | 2022/3期 | 2023/3期 | 2024/3期 | 2025/3期 |
|--------------------|--------------------------------|----------------|---------|-----------------------------|--|---------|---------|
| 【既に取組み済の項目】 | | | | | | | |
| 4 | 監査等委員会設置会社に移行 | | 対応完了 | | | | |
| 4-10① | 指名・報酬委員会の設置、独立性 | 対応完了 | | | | | |
| 4-6 | 執行役員制度改定(委任型に統一) | | | 対応完了 | | | |
| 4-2① | 業績連動報酬制度導入 | | 対応完了 | | 新たに業績連動型 株式報酬制度を 導入※1 | | |
| 4-1③ | サクセッションプラン策定 | | | 対応完了 | | | |
| 1-2④ | 議決権電子行使プラットフォーム | | | 対応完了 | | | |
| 3-1② | 英文開示・提供 | | | 決算短信 開示済 | (開示範囲を順次拡大)  | | |
| 【今後取組む項目】 | | | | | | | |
| 4-8 | 独立社外取締役3分の1以上 (スキルマトリクスの策定) | | | | 完了予定 | | |
| 4-11① | 女性取締役の登用 | | | | 完了予定 | | |
| 3-1③ | TCFD開示 | | | | | 完了予定 | |
| 5-1 | IR活動の活性化 | 決算補足説 明資料開示 | | 機関投資家、 個人投資家向け 説明会の開催 |  (適宜実施) | | |

※1 2022年6月24日開催予定の定時株主総会にて付議予定

「業績連動型株式報酬制度」の導入について

■ 本制度の概要

- 「業績連動型株式報酬制度」（パフォーマンス・シェア・ユニット制度）を導入
 - ※対象取締役は社外取締役、監査等委員である取締役を除く当社の取締役、取締役を兼務しない執行役員
 - ※本制度の導入に関する議案については、2022年6月24日開催予定の第76回定時株主総会に付議予定

■ 本制度の導入目的

- 対象取締役の報酬と当社の業績および株主価値との連動性をより明確化
- 中長期的な業績および企業価値向上への貢献意識の向上

■ 交付要件と交付株式数の算定方法

- 2025年6月末日時点において
 - ① 流通株式時価総額が100億円を超えていること
 - ② 東証プライム市場への上場を維持し、かつ東証プライム市場以外の市場に指定替えされること等が決まっていないこと
- 業績連動係数として、TSR（Total Shareholder Return（株主総利回り））を採用
 - ※算定期間：3年（2022年3月31日～2025年3月31日）

安心と喜びあふれる空間を創造する会社

